

生駒市市政顧問が従事した職務の遂行に係る情報

議 題	就学前教育・保育ほか
日 時	令和6年2月5日(月) 13:00 ~ 15:00
場 所	特別会議室ほか(藤沢顧問はオンラインによる参加)
出 席 者	<p>藤沢市政顧問 小紫市長、山本副市長、原井教育長 鍬田教育こども部長、松田教育こども部次長 大畑幼保こども園課長、杉山教育政策室主査 増田企画政策課企画官</p>
<p>主な意見 (概要)</p>	<p>■ 1月22日現地視察の振り返り</p> <p>○のびのびホットルーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現場の話を聞いて、メディカル系カウンセラーの配置が重要であると思った。 ・学校の中ということもあってか、スタッフが学校の教員に気を遣っているように感じた。双方の理解をより深める必要があるのではないか。 <p>○教育支援施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども、若者世代以降の年代の受け皿、居場所も考えていく必要がある。 ・施設のリニューアルにあたっては、光を取り入れて明るくしておく必要がある。海外の事例ではいずれも太陽の光をふんだんに取り入れている。 ・話すための物理的な距離感も大切。相手が子どもか親かによっても異なる。子どもの場合は、年齢などによって、床に座った方がよいのか、机がよいのか、その距離や高さ、素材など考えていく必要がある。そういった環境づくりも専門家を入れて検討されるとよい。 ・相談支援の取り組みと合わせて、当事者以外へも広く啓発していくことも同時に考えないといけない。 <p>■ 就学前教育・保育</p>

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">○ 幼児教育でどんなことを身に付けることがよいのかについては、A I 検索エンジンのコンセンサスを使うと世界中の論文から調べたい情報に合った論文が探せる。英語対応だが、他の翻訳ソフトで日本語を英語に翻訳もできるので、参考になる。○ 幼児期に育む「10の力」の棚卸をされたらどうか。例えば、集団性を育むためには具体的にどうするのか。他の世代の巻き込みや幼保、部活、学童との連携、稽古事との関係など。○ 市が考える「こどもまんなか」について、仮説を一回立てて考えてみてはどうか。親の困りごと、先生の困りごとに対して担当としてやりたいことをまとめてみるとよい。 |
|---|